

平成元年
4月25日

第55号

発行 守谷町議会
編集 守谷町議会事務局
TEL 02974-51111(内56)
茨城県北相馬郡守谷町大字守谷
甲631-1

もりやまち 議会だより

もくじ

- ①ページ 議決された内容
- ②ページ 一般質問
- ③ページ 町長の施政方針
- ④ページ 予算のあらまし
- ⑤ページ 請願、陳情ほか
- ⑥ページ



入学式（守谷小学校）

大幅増で総額二八三億円 元年度予算成立

平成元年度第一回定例会が、去る三月八日から十七日まで十日間の会期で開かれました。
今回の定例会には、平成元年度の各会計予算をはじめ、四十四の案件が町長から提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

第一回定例会 議決内容

○平成元年度各会計予算（七件）
関係記事は五ページに掲載してあります。

推薦

○人権擁護委員候補者の推薦
椎名半之助氏（野木崎一五八七・七七歳）の任期満了に伴い、再度同氏を候補者として推薦するものです。

選任

○収入役選任の同意
鈴木淳平氏（守谷甲四九四・60歳）の任期満了に伴い、再度同氏を選任するものです。

条例の制定

○元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例
元号が昭和から平成に改められたことにより関係条文の整理を行いました。
○町民会館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例
町民会館の建設資金に充てるため、本年度から基金の積立を開始します。
○ふるさと創生基金条例
守谷町の特色を生かした独自の、個性的な地域づくりを行うために、一億円の基金を積み立てます。
○昭和天皇の崩御に伴う守谷町職員の懲戒免除及び職員賠償責任に基づく債務の免除に関する条例

条例の廃止

○四週六休制の試行のための守谷町職員の職務に専念する義務の特例を定める条例
守谷町職員の四週六休制を本年四月から正式に実施するため、試行条例を廃止しました。

条例の改正

○守谷町税条例
○守谷町国民健康保険税条例
以上二件は、地方税法の改正に伴うものです。
○守谷町公民館の設置及び管理に関する条例
○守谷町運動公園の設置及び管理に関する条例
○守谷町自転車駐車場設置及び管理に関する条例
○守谷町都市公園条例
○守谷町公共下水道条例
○守谷町水道事業分担金徴収条例
○守谷町水道事業給水条例
以上八件は、消費税法の公布に伴い、使用料等を改正するものです。
○守谷町職員の勤務時間に関する条例
○守谷町職員の休日及び休暇に関する条例
○守谷町職員の給与に関する条例
以上三件は、四週六休制の実施に伴うものです。
○守谷町公共下水道整備基金の設置、管理及び処分に関する条例
字句を修正しました。
○守谷町国民健康保険条例
保健施設を改正しました。
○常総地方広域市町村圏事務組合規約
広域組合の共同事務として市町村職員の共同研修を追加するものです。

補正予算

○昭和六十三年一般会計補正予算
歳入は、法人町民税、たばこ消費税、ふるさと創生事業に伴う地方交付税の増が主なものです。
歳出は、老人保健特別会計繰出金、愛宕中学校及び御所ヶ丘中学校施設買収費、財政調整基金費、ふるさと創生基金費等の増額と、庁舎用地造成工事費、常総地方広域市町村圏事務組合負担金、常磐新線整備主体設立出資金、取手市外二町火葬場組合負担金等の減額が主なものです。
補正予算額：二千九十三万一千円
補正後の予算額：六十三億一千八百二十二万円
○昭和六十三年公共下水道事業会計補正予算
事業費の決定による下水道整備費の減額です。
補正予算額：一千三百二十五万四千円
補正後の予算額：七億九千七百五十万三千円
○昭和六十三年国民健康保険会計補正予算
一般被保険者医療費の増額及び退職被保険者等医療費の減額が主なものです。
補正予算額：二千八百五十九万五千円
補正後の予算額：九億八千九百八十三万四千円
○昭和六十三年老人保健会計補正予算
医療費の増額が主なものです。
補正予算額：六千八百七十七万九千円
補正後の予算額：八億四千八百四十七万一千円
○昭和六十三年度守谷町水道事業会計補正予算
工業団地の造成及び道路改良等に伴う配水管敷設備工事の追加が主なものです。

町道廃止・認定

○下ヶ戸地区内の町道の拡幅改良工事に伴い、路線の再編成を行いました。
○原地区内の国道二九四号線拡幅改良工事により町道の一部が国道用地に編入されたため、路線の再編成を行いました。
○西板戸井地区における県道バイパスの開通に伴い、従来の県道が町に移管されました。
○御所ヶ丘五丁目地区内の分譲に伴い、新たに八路線を認定しました。

報告

○公害防止条例に基づく報告
昭和六十三年年度における当町の公害の状況及び公害防止に関して講じた施策等が報告されました。

町議会を傍聴し
あなたの目で町政を
確かめましょう
定例会は 3・6・9・12月



町民と共に考える行政

一般質問

9名登壇 3月15・16日

第一回定例会における一般質問は、三月十五日、十六日の二日間にわたって行われました。
今回の通告者は、西巻議員、小川議員、佐藤議員、中田議員、浅野議員、栗橋議員、大久保(進)議員、中村議員、松本議員の九名で、消費税の問題や都市化とともに山積している行政の諸問題について熱のこもった質問が行われました。

消費税の導入について問う

西巻 健治議員

西巻議員 消費税の導入に關して次の点を伺いたい。
まず、世論調査やマスコミの論調をみても、到底国民の大多数の賛成を得られたいとは思えないが、どのように考えるか。
町長 確かに問題点はあろうかと思われるが、国民が迷惑を受けないよう国会の場で十分審議していただきたい。

町長 消費税法案は、国民の代表である国会議員の多くが賛成し可決されたものであり、施行にあたって、徐々に国民に浸透していただきたいと考えている。
西巻議員 所得の少ない人は、税負担が大きくなるという逆進性の問題についてどう考えるか。
町長 特定のものに対する課税ではなく、国民すべての方から広く薄く負担していただくということであり、今後の高齢化社会に向けて福祉を徹底させるためにもやむを得ないと考えている。

西巻議員 上下水道等の公共料金に対する消費税の転嫁についてはどう考えているか。
町長 消費税はすべてのものに転嫁されるので、上下水道の使用料についても他への影響等を考慮し、国の方針どおり転嫁する考えである。

西巻議員 三パーセントの税率は、いざいざ上げられると予想されるが、その時点での町の対応を伺いたい。
町長 まだそこまでは考えていないが、税率の問題に關しては国会の場で十分審議していただきたい。

西巻議員 消費者が払った消費税が正確に国庫の中に納められないのではないかと懸念や、消費税を価格に転嫁できる企業とできない企業との不公平が生じてくると思うがどのように考えるか。
町長 確かに問題点はあろうかと思われるが、国民が迷惑を受けないよう国会の場で十分審議していただきたい。

西巻議員 中小事業者の納税事務を軽減するために設けられた簡易課税制度によると、税金に税金をかけるという累積課税が心配されるがどうか。
町長 そのような課税の不徹底により一時混乱する恐れはあると思う。

西巻議員 課税売上高三千万円以下の免税事業者が選択により納税義務者となった場合でも、限界控除制度の適用により納付税額は0になってしまふ。これは、本来免税になるはずの税額が価格に転嫁されてしまふということであり、この不合理をどう考えるか。
町長 納税者の誠意ある申告が必要であるが、そのような難しい問題が出てくる可能性もあると思う。

れば無理である。

また、法律で決つたものはいたいて、住民サービスに生かすべきだと思う。
西巻議員 広報もりや三月号で消費税に関する制度について説明されたが、町の事業や住民生活への影響、さらには制度の欠陥によるデメリット等も併せて広報すべきではないか。
町長 減税によって負担が少なくなるということも大いにPRしていただきたい。

西巻議員 消費税は非課税常磐新線に伴う積極的なまちづくりを

常磐新線に伴う積極的なまちづくりを

小川 一成議員

小川議員 常磐新線整備検討委員会(運輸省、関係都県、JR東日本で構成)が構想している新線の建設スケジュールによると、平成元年六月頃第三セクター設立、同年度一・二年度調査設計、諸手続、同三年度六年度用地買収、同七年度一十一年度本工事、そして平成十二年には開業したいとのことであるが、開業までの町としての対応を伺いたい。

企画開発課長 現在、新線乗り入れに伴う市街地整備の基本構想を打ち出すべく、市街地整備事業調査(A調査)により住民の意向調査等を行っている。そして平成元年度には、守谷駅周辺区画整理事業調査(B調査)を実施し、基本構想から具体的な事業手法の検討に移行する考えである。

小川議員 平成三年度から用地買収に入りたいとのことであるならば、平成元年度から積極的に地元住民に対する説明会等を実施し、速やかに住民の協力体制を整える必要があると思うが、それ

の計画を一部変更すべきか、あるいは新たに第三次計画を策定すべきかなど議論している段階である。

佐藤議員 この度文部省は、学習指導要綱の改正を行ったが、その内容は、日の丸、君が代の押しつけ、あるいは古事記、神話なども出てきており、戦前に逆行する大変危険なものである。

教育行政について問う

佐藤 弘子議員

また、低学年では教育内容が高度化し、落ちこぼれの増加が心配される。
この指導要綱について教育長はどのように考えるか。
教育長 この指導要綱の改正は、二十一世紀の人間を育成するために教育課程審議会が長い間検討を重ねてきたものであり、心配されるようなことはないと思う。

佐藤議員 守谷中学校の父兄からミシンや暗算の購入、さらに体育館や自転車置き場の建て替えなどが要望されているがどのように考えているか。
また、テレビについては学校側の要望がなかった中で、要望があれば必要性を考慮し、購入する考えである。

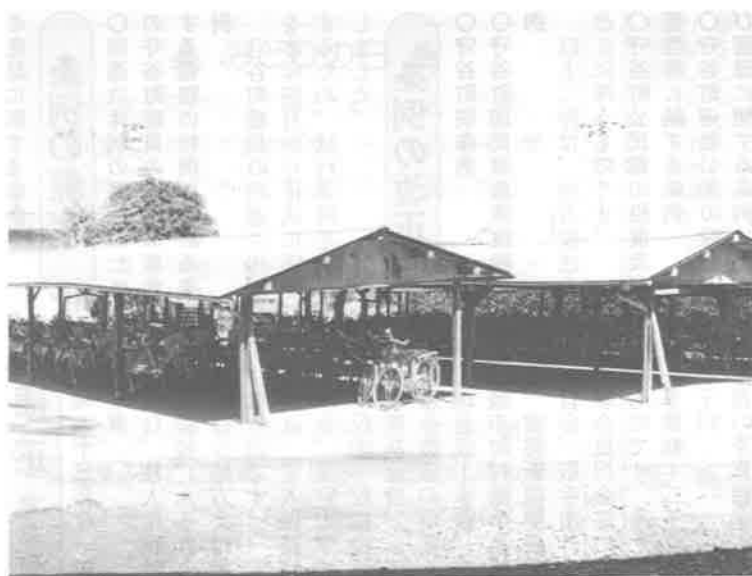
佐藤議員 給食費の収支明細を各学校ごとに父兄に示していただきたい。
給食センター所長 支出は

各学校一括なので、学校別の明細は出ない。

佐藤議員 小中学生は、一番成長が激しく新鮮なものをたくさん要求する年代であるので、そのような給食内容を考えていただきたい。

給食センター所長 栄養士が毎日各学校の残飯内容を調べて、翌月のメニューを検討している。

また、冷凍食品が月に数品目入っているが、現在の施設、調理員、配達時間等総合的にみて、やむを得ないと考えている。



建て替えが望まれる守谷中学校自転車置場

農業問題について

佐藤議員 政府の減反政策等により農業を取りまく状況は非常に厳しいものとなっている。

そこで、町長は施設方針において、農業の振興を図るために地域農業の確立、生産性の高い農業の確立に努めるとしているが、その具体的な内容を伺いたい。

助役 圃場整備事業を促進し農地の効率的利用による生産性の高い農業を確立するとともに、首都圏の生鮮野菜の供給基地として近郊農業を推進し、さらには大八洲開拓における専門的な畜産経営の推進を図らなければならないと考えている。

また、後継者問題についても鋭意模索している。

佐藤議員 取手市、守谷町、藤代町、伊奈町、谷和原村の五農協が合併するとのことであるが、これは金融の自由化により、金融あるいは商社的な業務にたずさわるためのものではないか。

また、組合員にはどのような利点があるのか。
助役 経営の合理化を図ることが主たる目的である。農業者の意志の繁栄が難しいという懸念もあるが、総代制あるいは地域の連絡



分断された町道109号線

員制度などによって補えるよう進めている。

新大利根有料道路

佐藤議員 新大利根有料道路の自転車の通行料を無料にするよう県や県道路公社に働きかけていただきたい。町長 話をしてみよう。

計画的な道路網の整備を

中田 孝太郎議員

中田議員 常総ふれあい道路と都市計画道路北園・野木崎線の建設に伴い、既存の町道一〇九号線が分断されてしまったが、そのための迂回路の設置については、どの程度進んでいるのか。

都市計画課長 二本の迂回路を計画し、一本は完成したが、残りの一本については、拡幅のための地権者の協力が得られず現在にいたっている。

中田議員 町道一〇九号線が分断されたことにより、交通の便が悪くなり周辺地域の商工業者の減退が激し

非難誘導標示

佐藤議員 災害時の非難誘導標示を設置していただきたい。

総務課長 本年度、町の地域防災計画を作成する考えであり、その計画の中で考えていきたい。

中田議員 常総ふれあい道路と都市計画道路北園・野木崎線の交差点の立体化あるいは信号機の操作等により、当町道への出入りを可能にできないものか。

都市計画課長 現在清水地内の太田商店から水道事務所脇を通り、新庁舎の敷地前まで通じる幅員十二メートルの道路を計画しており、この道路の早期完成を図り、周辺地域の交通の便を良くしたいと考えている。

また、信号機の設置については、大塚近距離間の設置となるので難しく、立体交差についても、経費の問題、あるいは周辺住民の理解も必要であり、長期的な展望に立って考えなければならぬ。

ふるさと創生基金

中田議員 ふるさと創生基金一億円の事業の決定にあたっては、広く住民の意見を取り入れ、有効に活用するために住民を含めた検討委員会を設置していただきたい。

町長 広く町民からアイデアを募集し、事業を計画したいと考えている。

また、検討委員会の設置については、今後検討したい。

新庁舎周辺の整備

中田議員 新庁舎周辺の乱開発を防ぐため、早期に具体的な整備計画を進めていただきたい。

町長 平成元年度には積極的に仕事に取りかかっている。

ふるさと創生基金で 守谷沼周辺の公園整備を

浅野 進議員

浅野議員 念願であった守谷沼の整備が本年行われることになったわけだが、ふるさと創生基金を活用して守谷沼周辺を含めた一大公園を整備していただきたい。

町長 守谷沼周辺は大変貴重な場所であり、地権者から用地をお借りして立派な公園を整備したいと考えている。また基金の活用については今後検討したい。

庁舎の跡地利用

浅野議員 現庁舎の跡地利用を早い時期に計画決定し、庁舎移転後一、二年の内には整備をしていただきたいが

工業団地について

中田議員 工業団地への立地企業について、アサヒビール株の他にどのような企業から立地の希望が出されているか。

また、立地企業を選定する場合、町内企業に対する特例措置はあるのか。

企画開発課長 三月十日現在で五十八社の立地希望があり、そのうち三社が町内企業である。

立地企業の選定にあたっては、町職員で構成している選定委員会において町内企業についても考慮しながら、十分調査して決定したい。

中田議員 職住一体のまちづくりのため、アサヒビール株への地元住民の雇用を

あせんでいただきたい。町長 オートメーション化が進んでいるため大勢は望めないが、関連企業も併せて地元住民の雇用を強く要請していきたい。

営磐新線に伴う町の対応は

栗橋 義三議員

栗橋議員 常磐新線の整備に伴う、大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法案とはどういふものか。

町長 新しく鉄道を整備する際に、区画整理事業により宅地も一緒に開発して、乗降客を確保しようというものである。

栗橋議員 常磐新線の整備に伴った地価の高騰で、県は三月十五日から国土利用法による監視区域の拡大を行ったが、守谷町としては地価高騰を防止するための対策を考えているのか伺いたい。

町長 現在のところ守谷町では急激な地価高騰の心配はないと思われるが、守谷では市街化区域で三〇〇平方メートル以上、市街化調整区域で一、〇〇〇平方メートル以上の土地取引をする際には事前に届出が必要である。

栗橋議員 常磐新線のルート決定にあたっては、町長の意見が多大な影響を及ぼすのか。

栗橋議員 常磐新線のルート決定にあたっては、町長の意見が多大な影響を及ぼすのか。

学区の改正について問う

大久保 進議員

大久保議員 四月開校予定の松前小学校に、大井沢小学校の一部の学区が編入されるというのだが、そのために大井沢小学校の児童数の減少が心配されている。そこで、どのような経過でこの学区が編成されたのか伺いたい。

教育長 松前小学校の学区になる地域は、松前台区、薬師台区と大井沢小学校から編入された大山新田地区である。大山新田地区については、話し合いをした結果松前小学校に移りたいという希望があったので編入した。

水道料金について

大久保議員 二月二十三日に行われた守谷町水道事業運営協議会において、水道料金に消費税を転嫁することが決まったようであるが、水道料金そのものの値上げはしないでいただきたい。

町長 水道事業運営協議会で十分検討していただいた

入札参加選定規程の見直しを

中村 力議員

中村議員 庁舎建設等の大きな公共事業になると町の指名競争入札参加選定規程により、多くの地元業者が入札に参加する機会を制限されてしまう。そこで地場産業の育成ということから

も公共事業に地元業者がでるだけ公平に参加できるように入札参加選定規程の改正をお願いしたい。

助役 町内業者が極力入札に参加できるように方途を考えたい。

リゾート構想を

中村議員 稲戸井調節池総合開発事業については、単に建設省側の構想を待つのではなく、リゾート的な構想をいち早く打ち出すべきではないか。

企画開発課長 守谷町、取手市、県水土地対策課、建設省の四者連絡協議会を定期的に実施し、建設省の考えを問いただすとともに地

町長の施政方針について問う

松本 明子議員

松本議員 平成元年度の町長の施政方針に関して次の点を伺いたい。

まず、常総線沿線地域の特性を生かした多機能な土地利用の方策の検討とはどう

い。

行政機構の見直しを

大久保議員 行政の多様化と住民サービスの向上を図るためには、行政組織の見直しをする必要があると思うがどうか。

助役 新庁舎ができるまでには部制を導入したいと考えている。

消費者行政の充実を

中村議員 逆進性といわれる消費税が町民生活に与える影響を少なくするために賢い消費者のための消費者行政の充実を図るべきではないか。

町長 消費者に消費税の問題を勉強していただきたいと考えており、町としてもPRしていきたい。

線引きの見直しを

中村議員 守谷町は急激に開発が進んでおり、この変貌に対応した有効な土地利用を図るために、各用途地域の線引きの見直しを定期的に検討していくよう要望する。

いうことか。

町長 常磐新線に伴うまちづくりにあたって、外部資本に荒されることのないよう、地域ぐるみで計画的なまちづくりを進めたい考えである。

松本議員 稲戸井調節池総合開発事業について、事業の進捗状況と建設省との話し合いの経過を伺いたい。

企画開発課長 平成元年度は実施計画調査の最終年度（三年目）にあたり、二億五千万円の調査費がついていて、平成二年度には地権者に対して、この調査の報告や今後の事業の流れ等を示す考えのようである。

また、本年六月に、町側のゾーン構想などの要望に対して、建設省としての構想図を示したいとのことである。

松本議員 ごみ焼却によって公害を出さないために、分別収集を徹底するように各関係市町村長に対する強い働きかけが必要であると思うがどうか。

町長 私もそのように考えている。

松本議員 高齢者の生きがいづくりには、自分の特技を地域に生かすこともあると思うが、そのようなシルバー事業の検討はされたのか。

福祉課長 ミニシール人材センター（六〇歳以上の高齢者が会員となり、雇用によらない補助的・短期的な仕事を請負う自主的な組織）について平成元年度に計画し、平成二年度に設立できるよう努力したい。

松本議員 児童館の建設並びに児童保育の実施を前向きに検討していただきたい。

福祉課長 各課と協議していきたい。

松本議員 学校教育において副教材費の負担が非常に多く、父母負担を軽減して

町長の 平成元年度施政方針（要旨）

第一回定例会の冒頭に町長の平成元年度施政方針演説が行われました。その主な内容をお知らせします。

希望と活力に満ちたまちづくり

一、常磐新線とまちづくり

(1) 常磐新線整備主体設立 出資金を計上し、町の将来計画に合致する事業計画の実現に努力します。

(2) 常磐新線対策基金を積立て、新線の早期着工に努力します。

(3) 常磐線沿線地域の特性を生かした多機能な土地利用の方策の検討及び将来の都市整備・開発構想を策定するとともに、新市街地開発整備候補地を選定します。

(4) アイデアモニター制度により、特に婦人から見た将来の守谷のあるべき姿や、既成概念にとらわれない貴重なアイデアをまちづくりに生かしていきます。

(5) 町村制施行百周年記念事業を平成二年度の新庁舎落成記念事業と併せて実施すべく準備を進めるとともに「百周年記念誌」の発行に向けて編集作業を進め、さらに国際姉妹都市提携を推進します。

(6) ふるさと創生事業を広く町民からアイデアを募集して計画します。

(7) 守谷駅周辺について、地域住民の十分な理解を得て快適で整然とした住みよい町づくりを推進するため、守谷駅周辺整備事業に係る事業調査（B調査）を実施します。

二、守谷町工業団地事業の推進

職住一体の町づくり、

第一回定例会の冒頭に町長の平成元年度施政方針演説が行われました。その主な内容をお知らせします。

希望と活力に満ちたまちづくり

一、常磐新線とまちづくり

(1) 常磐新線整備主体設立 出資金を計上し、町の将来計画に合致する事業計画の実現に努力します。

(2) 常磐新線対策基金を積立て、新線の早期着工に努力します。

(3) 常磐線沿線地域の特性を生かした多機能な土地利用の方策の検討及び将来の都市整備・開発構想を策定するとともに、新市街地開発整備候補地を選定します。

(4) アイデアモニター制度により、特に婦人から見た将来の守谷のあるべき姿や、既成概念にとらわれない貴重なアイデアをまちづくりに生かしていきます。

(5) 町村制施行百周年記念事業を平成二年度の新庁舎落成記念事業と併せて実施すべく準備を進めるとともに「百周年記念誌」の発行に向けて編集作業を進め、さらに国際姉妹都市提携を推進します。

(6) ふるさと創生事業を広く町民からアイデアを募集して計画します。

(7) 守谷駅周辺について、地域住民の十分な理解を得て快適で整然とした住みよい町づくりを推進するため、守谷駅周辺整備事業に係る事業調査（B調査）を実施します。

二、守谷町工業団地事業の推進

職住一体の町づくり、

を図ります。

また、国民健康保険事業による人間ドック等により、早期治療及び年々増加する医療費の削減を図れるよう保健事業の推進に努めます。

健康づくり大会等に積極的に取り組み、住民参加による体力増進と健康に対する意識の向上を図ります。

三、新しいゴミ処理施設の供用開始に伴い、廃棄物の処理の円滑化を図るとともに、環境美化運動の促進と意識の高揚に努め、空き缶やゴミの散乱防止に努力します。

また、都市化に伴う大気や水質汚染等の公害発生を防止するため、定期的な観測パトロールを実施します。

二、福祉の向上を推進するための施策

(1) 福祉を取り巻く社会環境の変化に対応するため、町民一人ひとりの連帯意識の高揚を図り、計画的・総合的に地域福祉の推進を図るとともに、社会福祉協議会の充実を図ります。また、同和問題については、講演会、研修会等あらゆる機会を通じて、正しい理解と認識を深めていただくよう啓発に努めます。

(2) 高齢化社会に対応し、生きがいに満ちたまちづくりを図るため、高齢者の健康増進のためのスポーツ振興や高齢者と児童との世代間交流活動を推進します。また、寝たきり老人や独り暮らし老人に対して、家庭奉仕員の派遣、ミニデイサービス事業及び短期保護事業等の充実を図ります。

(3) 保育所における乳児保育、延長保育の一層の充

実を図るとともに保育ママ制度を実施します。

また、児童館において、幼児、児童の健全育成に努め、障害児については、障害児保育、巡回相談、在宅重度心身障害児リハビリを密に行い、福祉集会所等を活用し、障害児の福祉の増進に努めます。

三、教育文化を高めるための施策

(1) まちづくりの基本は人づくりが最も大切であるとの考えに立って、学校教育の充実を図ります。

施設面においては、生徒増に伴い御所ヶ丘中学校の校舎を増築するとともに、引き続き守谷中学校校舎の改修工事を行います。

また、幼稚園就園児への助成を増額し、父母負担の軽減を図ります。

(2) 生きがいのある充実した生涯を送るため、各種教室、講座等を充実し、より多くの住民参加の機会を設けて、社会教育の振興を図ります。特に、本年は芸術鑑賞の機会を設け、町民の芸術への関心を高めていきます。

公民館活動については、クラブ、サークル等自主活動を推進し、時代に即応した事業を実施し、その成果を地域に還元します。また、図書室の利用意工夫をし、親しまれる図書室づくりに努めます。

(3) 本年度から町民会館の建設基金を積み立て、町民の「ふれあいの場」づくりに取り組みます。

四、産業を振興するための施策

(1) 地域農業の確立を図るため、農地の流動化、集積化及び中核担い手農家の育成、婦人農業者の技

術等の育成向上に努めます。また、生産基盤を整備するため、農道の整備と県営圃場整備事業を促進し、生産性の高い農業の確立に努めます。

水田農業確立対策事業の推進にあたっては、各種団体と協力し、さらに農家各位の理解と協力を得ながら、転作目標面積の達成に努めます。また、集落住民の総合集会所施設を整備するため、農村集落センター整備事業を実施します。

守谷沼については、農業用施設として、また自然豊かなレジャー施設として整備します。

(2) 中小企業の経営の合理化を図るため、自治金融、振興金融の利子補給を行うため、商業の振興に努めます。また、消費者人口の増加や需要の多様化に対応するため、町内商業者の育成を図りながら、大型店の出店について商工会と一体となって検討したいと思います。

五、安全対策

(1) 消防施設の充実と消防団員の技術向上、士気の高揚を図るため、操法訓練、規律訓練等を実施し、さらに広域消防署との連携を密にし、町民の財産を守ることに努めます。また、種々の防火対策を講じ、防火意識の高揚に努めます。

(2) 交通安全対策として、事故防止運動、交通安全意識の高揚に努めるとともに、交通安全施設の整備を図ります。

術等の育成向上に努めます。また、生産基盤を整備するため、農道の整備と県営圃場整備事業を促進し、生産性の高い農業の確立に努めます。

水田農業確立対策事業の推進にあたっては、各種団体と協力し、さらに農家各位の理解と協力を得ながら、転作目標面積の達成に努めます。また、集落住民の総合集会所施設を整備するため、農村集落センター整備事業を実施します。

守谷沼については、農業用施設として、また自然豊かなレジャー施設として整備します。

(2) 中小企業の経営の合理化を図るため、自治金融、振興金融の利子補給を行うため、商業の振興に努めます。また、消費者人口の増加や需要の多様化に対応するため、町内商業者の育成を図りながら、大型店の出店について商工会と一体となって検討したいと思います。

五、安全対策

(1) 消防施設の充実と消防団員の技術向上、士気の高揚を図るため、操法訓練、規律訓練等を実施し、さらに広域消防署との連携を密にし、町民の財産を守ることに努めます。また、種々の防火対策を講じ、防火意識の高揚に努めます。

(2) 交通安全対策として、事故防止運動、交通安全意識の高揚に努めるとともに、交通安全施設の整備を図ります。

生活基盤の充実したまちづくり

一、道路・公園の整備

都市化とともに、交通

体系の変化と交通量の増加が予想されるので、重要な生活道路の改良舗装工事を積極的に進めるとともに、町に移管された分譲地内の町道を年次計画で整備します。また、公園及び運動施設について、計画的な整備と維持管理を図ります。特に（仮称）土塔森林公園については、自然林を散策できる憩いの場として整備し、同時に新旧市街地の公園整備の格差是正を図ります。

二、公共下水道の整備

昨年度から二カ年計画で着手している工業専用区域の汚水面整備事業を進めます。施設面では、急激な人口増加と、工業団地による流入汚水量の増大に対処するため、浄化センターの水処理施設を増設します。

また、市街地調整区域の整備拡大に向けて各種調査を実施し、普及率の向上に努めます。

三、上水道事業

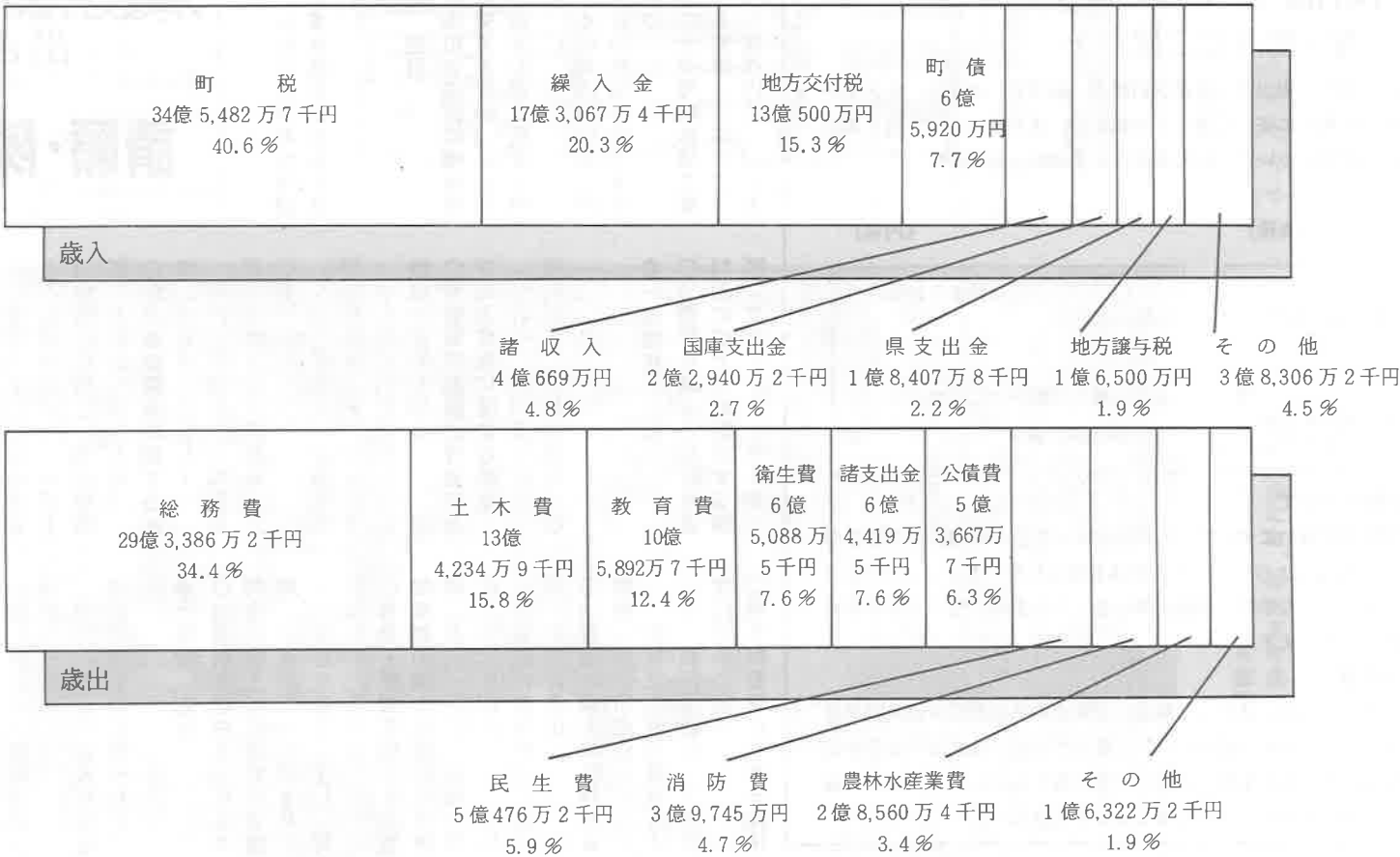
配水本管の増・改良工事を実施し、給水サービスの向上に努めるとともに、将来にわたる安定した水供給の水源確保に努めます。

また、管理運営の強化及び財政の立て直しのため、未加入者に対する加入促進、使用水量アップのPR、口座振替による料金納入の推進等を実施し、営業収益の拡大を図ります。

四、町営住宅の建替促進

町営築師台住宅の最終計画（第四期分）として一種住宅一二戸を継続事業で建設するとともに、老朽化した既存の第四住宅を除去します。

一般会計の内訳



一般
会計

庁舎建設などで大幅増

元年度予算
のあらまし

町政の向う一年間の仕事の計画書——平成元年度各会計予算が成立しました。予算総額は二百八十三億二千七百六十四万七千円となっています。

予算の審議は、一般会計を総務、教育厚生、産業経済、建設の各常任委員会に部門別に付託し、国保会計、老人保健会計、水道会計を教育厚生委員会に、下水道会計を建設委員会に、工業団地の事業及び用地会計を総務委員会にそれぞれ付託し、慎重な審議を経て本会議に報告され、各会計とも原案のとおり可決されました。

歳入をみると、町税が三十四億五千四百八十二万七千円で、前年度当初と比較して一九・九パーセント伸びています。これは南北両団地、みずき野団地などで人口が急増したためです。

また、消費税の導入により五千万円の消費税増収が計上されるとともに、中央公民館ホールやテニスコートなどの町施設の使用料や学校給食費などは三パーセント上乗せされています。

このほか、基金繰入金が一十七億三千六十七万三千円

一般会計

予 算 総 額		283億2,764万7千円
内 訳	一 般 会 計	85億1,793万3千円
	下 水 道 会 計	8億9,745万1千円
	国民健康保険会計	10億5,896万7千円
	老人保健会計	8億5,279万8千円
	水 道 会 計	13億 465万7千円
	工業団地事業会計	61億8,584万1千円
	工業団地用地会計	95億1,000万円

(前年度当初比五四・二パーセント増)、町債が六億五千九百二十万(同一五・二パーセント増)と大幅に伸びています。これは平成二年七月に完成予定の庁舎建設によるものです。

歳入においても庁舎建設により、総務費が二〇五・八パーセントと大幅に伸びています。衛生費は、各種検診の強化や水道会計補助金の増加などにより三七・一パーセント、農林水産業費は、守谷沼整備事業(一億三千万円)などにより二三・三パーセントとそれぞれ伸びています。

また、諸支出金は一一・二パーセントの伸びで、常磐新線対策基金三億円(前年度は一億円)、町民会館建設基金三千万円、ふるさと創生基金八千万円(前年度二千万円)などによるものです。

下水道会計

予算額は、八億九千七百四十五万一千円で、前年度当初と比較して七・七パーセント伸びています。これは主に維持管理費の増加によるものです。

建設事業では、前年度に着手した工業専用地域の汚水面整備を完了させるとともに、汚水流入量の増加に対応すべく浄化センター施設の強化が図られます。

維持管理部門では、正常な処理原価を確保するため各種機器の点検整備及び改良が実施されます。

国保会計

また、使用料は、消費税法の施行に伴い三パーセント上乗せされています。

予算額は、十億五千八百九十六万七千円で、前年度当初と比較して八・四パー

セント伸びています。

昨年六月、国保制度の安定化を図るため国保法の改正が行われましたが、財政状況は引き続き高齢化社会の進行、医療費の増高のなかで、なお厳しいものがあります。

歳入は、国民健康保険税が五億一千三百四万三千円(前年度当初比一五・八パーセント増)、国庫支出金が三億三千四百四十二万四千円(同三・四パーセント増)で歳入総額の八〇パーセントを占めています。

歳出は、保険給付費が七億七千七百三十三万五千円(同四・四パーセント増)、老人保健拠出金二億一万四千円(同二・一パーセント減)で歳出総額の九二・四パーセントを占めています。

老人保健会計

予算額は、八億五千二百七十九万八千円で、前年度当初と比較して三四・四パーセント伸びています。これは高齢化の進行等により医療費が増加したためです。

歳入は、支払基金交付金が五億七千二百二十二万四千円で歳入総額の六七パーセントを占め、そのほか国庫支出金、県支出金、一般会計繰入金などです。

歳出は、医療諸費が八億一千五百九十六万六千円(前年度当初比三三・七パーセント増)で歳出総額の九五・六パーセントを占めています。

水道会計

予算額は、収益的収入六億五千九百九十八万五千円(前年度当初比九・九パーセント増)、収益的支出六億六千四百九十六万(同

一〇パーセント増)と伸びています。これは人口の増加に伴うものです。

資本的収入は五億七千八百三十二万八千円(同一〇・六五・二パーセント増)、資本的支出は六億三千九百六十九万七千円(同五・八六・六パーセント増)と大幅に伸びています。これは、アサヒビル(株)に給水するための配水管敷設工事等によるものです。

また、本年度の給水戸数は八、七〇〇戸(同一八・四パーセント増)、年間総給水量は二〇九万八、七五〇トン(同一・二パーセント増)が見込まれています。

工業団地事業会計

本年度は造成工事が二年目に入り、仮換地により一部使用収益を開始します。

資本的収入及び支出は、それぞれ六十一億八千五百八十四万一千円となっています。

収入の主なもの、土地区画整理事業収入五十七億九千八百八十万円、国庫及び県支出金がそれぞれ一億九千七百八万円で、

支出の主なもの、造成工事費二十七億七千五百五十五万一千円、鉄塔移設などの補償費二億六千七百三十九千円、企業債償還金二十八億六千万円などです。

工業団地用地会計

資本的収入は、九十五億一千万円で、アサヒビル(株)からの預納金九十五億円と予納金運用利息一千万円です。

資本的支出は二十億二千九百六十一万一千円で、そのうち用地費は二十億円で、本年度で用地の買取りが終了する予定です。

請願・陳情をなさる方へ!!

——提出期限にご協力を——

請願（陳情）書には、趣旨、提出年月日及び請願者（陳情者）の住所、氏名を記載し押印のうえ、下記の記載例に従い提出してください。連名のときは末尾に署名簿を添えてください。（陳情については紹介議員の必要はありません）

●記載列

（表紙）

（内容）

紹介議員
○○○○○○○に関する請願書
請 願 者
住所
氏名
（連名の場合は、代表者名を記載し他○名とする）

○○○○○○○に関する請願
請願の趣旨
上記の通り請願いたします。
守谷町議会議長 殿

●請願・陳情の提出期限について

請願・陳情の提出期限の取扱いについては、昭和60年6月17日の議会運営委員会において、議会運営の効率化及びより以上の慎重審議を図るため、下記のとおり、申し合わせ事項が成立いたしましたので、請願・陳情をなさる方は、できるだけ早めに提出されるようお願いいたします。

●議会運営申し合わせ事項

請願・陳情の取扱いに関しては、議会（定例会）招集前の議会運営委員会開催前日までに受理した案件については当該議会において審議するも、それ以降に受理した案件については次期議会まで議会事務局において預り置くものとする。但し、議長が早急に処理すべきと認めるものについてはこの限りではない。

みなさんから出された

請願・陳情

皆さんから出された請願・陳情の審査結果をお知らせします。

◆採択 四件

○立沢本町の道路拡幅改良工事に関する請願（立沢六七八 海老原義雄氏ほか四名）
立沢本町地内の町道二四五号線の拡幅改良工事を願うもの。
○国道二九四号線拡幅工事に関する要望（守谷甲二〇〇 地権者代表 山下秀夫氏）

○一部採択 二件
○消費税を理由とした水道料金の値上げに反対する請願（立沢一〇〇 日本共産党 有氏ほか一名）

夫氏、守谷甲一九七五 原本町区長 下村 栄氏）
○本町地内における国道二九四号線の四車線拡幅工事にあたって、町道のあるところは一〇メートル以上分離帯を切断し、国道を横断できるように願うもの。
○防災無線設置に関する陳情（守谷甲二二七七一 黒内小学校校外指導委員長 大熊ヨシ子氏ほか二六〇名）

夕方、子供たちに帰宅時間を知らせるメロディーチャイム等を利用できる防災無線の設置を願う。
○常磐新線計画と守谷駅及び周辺整備に関する陳情（守谷甲二二四五一一 栄町区長 下村由郎氏ほか二二〇名）

○消費税を理由とした公共料金の値上げに反対する請願（立沢一〇〇 日本共産党 守谷支部長 金杉 昇氏ほか二三五名）

○名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する請願（立沢一〇〇 金杉 昇氏、大山新田六三 全日農 茨城県南農民組合守谷支部 中村健男氏）

○消費税の導入に反対する陳情（水戸市東原三二二 一 茨城県医療労働組合連合会 執行委員長 宮本雅有氏ほか一名）

○排水路整備に関する陳情

党 守谷支部長 金杉 昇氏ほか二〇九名）
○公共下水道の整備に関する請願（守谷甲二二五三一 一七 原区長 柳町達郎氏ほか二三名）
○原地内の下水道未整備地域の早期整備を願うもの。

◆不採択 四件
○消費税を理由とした公共料金の値上げに反対する請願（立沢一〇〇 日本共産党 守谷支部長 金杉 昇氏ほか二三五名）

○名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する請願（立沢一〇〇 金杉 昇氏、大山新田六三 全日農 茨城県南農民組合守谷支部 中村健男氏）

○消費税の導入に反対する陳情（水戸市東原三二二 一 茨城県医療労働組合連合会 執行委員長 宮本雅有氏ほか一名）

○排水路整備に関する陳情

（守谷甲三三三 小松原安五郎氏ほか三六名）
土塔地内の未整備排水水路の早期整備を願うもの。

◆継続審査 一件
○道路整備に関する請願（守谷甲一六五一 一 金原修司氏ほか一九名）
下新田地内の町道三〇八五号線の一部と三〇八六号線の拡幅舗装工事を願うもの。

◆取り下げ 一件
○菅生沼土地改良区南部地区圃場整備内町道に関する陳情（板戸井一四四八 齊藤藤之助氏ほか二名）

平成元年第二回臨時会が去る二月二十二日に開かれました。議決の内容は次のとおりです。

○助役選任の同意
伯耆田康男氏（大柏五四二 64歳）の任期満了に伴い、再度同氏を選任するもの。

去る二月九日に開かれた全国町村議会議長会第四十回定期総会において、本町議会の浅野 進議員が、地方自治の振興発展のため、

第二回臨時会

全国議長会から浅野進議員表彰される

去る二月九日に開かれた全国町村議会議長会第四十回定期総会において、本町議会の浅野 進議員が、地方自治の振興発展のため、



余暇時代にむけて豊かさを創造

余暇の効用は、昔も今も私たちにとって大きなテーマです。この問題は、簡単に見えて、実はなかなか難しい内容を含んでいます。

人間性の回復を目指す
効用についていえば、最終的には、人間性の回復と

守谷町職員の休日及び休暇に関する条例の臨時特例に関する条例の制定
町職員について、昭和天皇の大喪の礼の行われる日を休日としました。

農業委員の推薦
椎名七生氏（48歳 新）
浅野 進氏（58歳 新）
倉持和夫氏（67歳 再）
柳生 力氏（51歳 再）
渡邊清一氏（64歳 再）

余暇の効用

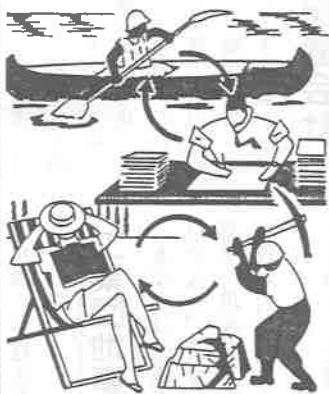
仕事からの解放

仕事と余暇を厳密に区別する欧米人
一方、欧米人は普通、仕事と余暇を厳密に区別した生き方をしています。決められた時間から時間まで、一定のマニュアル（手引き）に従って、仕事をします。

仕事からの解放
仕事で疲れた体と心を、リフレッシュし、翌日から仕事の能率が上がるような余暇の過ごし方を、自分なりに見つけ出したいものです。

仕事で疲れた体と心を、リフレッシュし、翌日から仕事の能率が上がるような余暇の過ごし方を、自分なりに見つけ出したいものです。

仕事で疲れた体と心を、リフレッシュし、翌日から仕事の能率が上がるような余暇の過ごし方を、自分なりに見つけ出したいものです。



編集後記

○今年もまた大型連休がやってきます。例年四月下旬から五月上旬にかけて「民族の大移動」といわれるほど多くの人が旅行に出かけます。皆さんもいろいろとプランを立てていることと思います。日頃の疲れをリフレッシュできる有意義なゴールデンウィークにしたいものです。

○町議会に関するお問い合わせは、守谷町議会事務局までお寄せください。

電話(5)一一一 内線五六

▲ みどりの日 ▲

平成元年から、「みどりの日」という新しい国民の祝日が生まれました。4月29日、長年親しまれてきたこれまでの「天皇誕生日」と同じ日です。

日本は飛躍的な経済成長を遂げ、わたしたちの生活は物質的にほぼ満足できる水準になったといえますが、心の潤いやゆとりといった心の豊かさは、現代社会で希薄になっているともいわれています。そこで、日本で新緑が芽ぶくこの時期に、緑豊かな自然に親しみ、その恩恵に感謝しながら豊かな心をはぐくむことを願って、「みどりの日」が設けられました。